

欧州共同体商標意匠庁、若年層と知的財産に焦点を当てた  
欧州連合全体向けの双方向ウェブサイトを開設

2015年7月29日  
JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州共同体商標意匠庁（OHIM）は、7月23日、若年層と知的財産に焦点を当てた、欧州連合（EU）全体向けの双方向ウェブサイトである「Ideas Powered」を開設した旨、プレスリリースを行った。

本プレスリリースによれば、「Ideas Powered」とは、OHIMの「知的財産権の侵害に関する欧州監視部門」の活動の一環として、知的財産の価値と知的財産を尊重することの重要性について、若年層に啓発する双方向ウェブサイト。同ウェブサイトは、知的財産がいかにイノベーションや創造性を支えているのかを示すべく、EUの若いデザイナー、作曲家、企業家及び芸術家の貢献を結集させる。また、15歳～24歳の若者を対象として、いかに知的財産が自身にとって重要かについての見解を提出して競うビデオ・コンテスト（video competition）も、同ウェブサイト上で毎月開催する。

本プレスリリースによれば、今般のウェブサイト開設は、2013年にOHIMが実施した知的財産権に対する公衆の意識調査を受けたもの。EU市民を対象とした同意識調査の結果では、15～24歳の若者については、10人のうち8人は、模倣品の購入が経済に悪影響を及ぼすと認識し、3分の2が、インターネットからの違法ダウンロードが経済及び雇用に対する脅威であることに同意していた。ただし、50%は、依然として模倣品の購入を、抗議行動又は賢い消費として正当化し、57%は、個人的使用のために著作権で保護されたコンテンツに違法アクセスすることは許容されるとしていた。

— OHIMのプレスリリースは、以下参照 —

[Get involved in "Ideas Powered" and have a say on intellectual property](#)

— 「Ideas Powered」のウェブサイトは、以下参照 —

[Ideas Powered](#)

— 2013年にOHIMが実施した知的財産権に対する公衆の意識調査の結果は、以下参照 —

[European Citizens and Intellectual Property: Perception, Awareness and Behaviour \(PDF\)](#)

— 同意識調査の結果の公表についての欧州知的財産ニュースは、以下参照 —

[欧州共同体商標意匠庁、知的財産に対する公衆の意識調査の結果を公表（2013年11月27日）\(PDF\)](#)

— 知的財産権の侵害に関する欧州監視部門についての欧州知的財産ニュースは、以下参照 —

[OHIM, 知的財産権の侵害に関する欧州監視部門の 2014～2018 年の多年次計画を公表 \(2014 年 2 月 6 日\) \(PDF\)](#)

(以上)